

レジオネラ属菌の検査結果（令和7年度）

レジオネラ属菌によって引き起こされるレジオネラ症は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で四類感染症に分類されています。

レジオネラ症は主に肺炎型とポンティアック熱型が主要な病型で、肺炎型では死亡例も報告されています。一方、ポンティアック熱型はインフルエンザに似た発熱性疾患で自然治癒することが多く発見されにくいいため、報告例が少ない傾向にあります。

レジオネラ属菌は湖沼の水や土壌中に広く生息する常在菌であり、土ぼこり等によって運ばれ、噴水などの水景設備、冷却塔、浴場施設といった人工的な水環境下において、アメーバを介して増殖します。これらの施設でレジオネラ属菌によって汚染された水のエアロゾルを吸い込んだり、汚染水が誤って気道に入ったりすることで感染する可能性があります。

レジオネラ症の発生及び拡大を防止するためには、原因施設の特定と、レジオネラ属菌の適切な殺菌消毒が重要です。患者の行動歴調査により利用施設を把握し、施設の水試料や水回りのふきとり検体を採取し、レジオネラ属菌の有無を検査することで感染源を特定します。レジオネラ属菌が検出された施設については、保健所が消毒などの衛生対策の指導を実施します。

令和7年度は、レジオネラ症の患者が発生した事例において、患者の自宅及び患者が利用した施設に関する延べ43施設、235検体（水試料103検体、ふきとり試料132検体）のレジオネラ属菌検査を実施しました。検査方法はLAMP法を用いた遺伝子検査及び培養法の2種類を行いました。検査の結果、LAMP法陽性は延べ12施設17検体（水試料16検体、ふきとり試料1検体）で、培養法陽性は4施設7検体（水試料5検体、ふきとり試料2検体）でした（表1）。

また、それ以外に施設の冷却塔水を対象として9施設21検体についてレジオネラ属菌検査を実施しました。検査の結果、LAMP法陽性は延べ9施設17検体で、培養法陽性は6施設15検体でした（表2）。

LAMP法陽性または培養法陽性となった検体について施設と検体の内訳、菌の同定結果を表に示しました。

表1 レジオネラ症患者発生に伴うレジオネラ属菌検査における陽性事例

No.	患者検査結果	施設種類	検体名	LAMP法	培養法*1
1	培養陰性	高齢者 福祉施設	浴槽水	+	10 CFU/100mL (<i>Legionella maceachernii</i>)
			カラン水A	(-)	10 CFU/100mL (<i>Legionella pneumophila</i> 血清群不明)
			カラン水B	(-)	160 CFU/100mL (<i>Legionella feeleii</i>)
2	当所での検査 未実施	高齢者 福祉施設	浴槽水	+	(-)
			給湯水A	+	(-)
			給湯水B	+	(-)
3	当所での検査 未実施	公衆浴場	浴槽水	+	(-)
4	当所での検査 未実施	患者自宅	浴槽水	+	(-)
5	当所での検査 未実施	高齢者 福祉施設	シャワー水	+	(-)
6	当所での検査 未実施	高齢者 福祉施設	浴槽水	+	(-)
7	当所での検査 未実施	患者自宅	浴槽水	+	40 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG6)
			浴槽循環口ふきとり	+	+ (<i>L. pneumophila</i> SG6)
8	当所での検査 未実施	病院	カラン水	+	(-)
			冷却塔水A	+	(-)
			冷却塔水B	+	(-)
9	当所での検査 未実施	患者自宅	ジェットバス吸込口 ふきとり	(-)	+ (<i>Legionella</i> sp.)
10	培養陰性	高齢者 福祉施設	噴水	+	(-)
11	他都市からの 調査依頼	患者自宅	浴槽水	+	30 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG5)
12	当所での検査 未実施	患者自宅	浴槽水	+	(-)
13	培養陰性	病院	シャワー水	+	(-)

*1 水検体は陽性の場合100mL当たりの菌数CFU/100mLで表記し(colony forming unit)、
ふきとり検体は + で表記する。陽性検体は()で同定した菌種、血清型を示した。

表2 冷却塔水におけるレジオネラ属菌検査の陽性事例

No.	施設種類	LAMP法	培養法*1
1	高齢者福祉施設	+	(-)
2	高齢者福祉施設	+	20 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1)
3	商業施設	+	98,000 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1)
4	商業施設	(-)	100 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1)
		+	7,800 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1、SG6)
		+	25,000 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1、SG6)
		+	28,000 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1、SG6)
		+	21,000 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1、SG6)
		+	72,000 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1)
5	商業施設	+	660 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1、 <i>Legionella</i> sp.)
		+	1,300 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1、SG6、血清群不明)
6	公共施設	+	730 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1、SG13、 <i>Legionella</i> spp.)
		+	
7	商業施設	+	100 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1)
		(-)	2,000 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG1)
8	公共施設	+	100 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> SG13、血清群不明)
		+	10 CFU/100mL (<i>L. pneumophila</i> 血清群不明)
9	事業所	+	
		+	

*1 水検体は陽性の場合100mL当たりの菌数CFU/100mLで表記する(colony forming unit)。
陽性検体は()で同定した菌種、血清型を示した。

【 検査研究課 微生物(細菌)担当 】